

令和3年度 第2回茅野市地域創生総合戦略有識者会議 会議要旨

日時 令和3年(2021年)10月12日(金)
18時30分～20時00分
場所 WEB会議(zoom)

(進行:企画課長)

1 開会(企画課長)

2 あいさつ(市長)

－市長あいさつ－

3 茅野市地域プロジェクトマネージャーの紹介(企画課長)

－大西地域プロジェクトマネージャーあいさつ－

4 会議事項(進行:市長)

(1) 地域再生計画に関する令和2年度分の実績報告について(小池地域創生課長)

① 地方創生推進交付金対象事業 資料1

② 企業版ふるさと納税 資料2

－資料について説明－

○伊原委員(八十二銀行茅野支店長)

・資料1「モノづくり集積地SUWAのヒトづくりプロジェクト(SUWAモノ・ヒトプロジェクト)」のうち、「新卒・第2新卒者(UIJターン含む)等の地域内企業への就職者数」はどのよう
に算出したか。また就職先の業種は。

○五味産業経済部長

・おそらく製造業だが、確認の上、後日回答する。

(2) 第2次茅野市地域創生総合戦略の進行管理について 資料3 (高橋企画係主査)

－資料について報告－

・委員からの意見については、メール等で集約の上、次回会議で回答させていただく。

(3) 「スーパーシティ」構想の状況報告及び提案内容について 資料4 (熊谷地域創生政策監)

－資料※について説明－

※会議中で画面共有した「資料4(別紙)」は未定稿のため、委員には送付していない。

10月15日の国への再提案後に、完成版をお送りする。

○武井委員(どんぐりネットワーク茅野)

- ・前回と比べ、非常に魅力的な内容になった。
- ・国の委員から、補助金申請と混同しているとの指摘があるが、国からの財政措置はなされないということか。今回の提案事業を実施するとなると多くの事業費がかかるものと推察されるが、国からの財政措置がなされないとなると、市の負担が大きくなることが懸念される。財政的な目途はついているのか。

○熊谷政策監

- ・他自治体でも資金のほとんどを国からの補助金で賄っているケースがある。今回の指摘は、新規の支援制度の創設は行わないということで、既にある支援制度は活用できる。
- ・これまでは十分に勉強できていなかったが、過去の事例を研究進めるとともに、今回のチャレンジの中でつながった国や企業から教示いただきながら、必要に応じて活用していきたいと考えている。
- ・また、会津若松市のように企業が入ってきて、取り組みを支援いただくモデルを構築できればと考えている。

○今井市長

- ・このような動きの中で、茅野市は何かおもしろいことをしているということが広がり、全国から人が集まる様にしていきたい。引き続きよろしく願いたい。

(4) DX の推進について 資料 5 (伊藤企画係長)

－資料について説明－

○小越委員(公立諏訪東京理科大学学長)

- ・DX は大学も進めようとしている。
- ・DX の段階としては、まず効率化、その次の段階として新たな価値や事業の創出だと思う。
- ・資料中、「DX の具体的な事例③」の「検診 DX」がまさにその良い事例。他の事業においてもそのように事業を考えていただければと思う。

(5) 総合計画審議会委員選出について(田中企画課長)

- ・総合計画後期計画の改訂は、民間の委員により組織される総合計画審議会によって検討を行う。総合計画後期計画は、第 2 次総合戦略との整合をとった上でスムーズに策定したいと考えており、ここで任期を迎える総合計画審議会委員にこの総合戦略有識者会議より委員を選出したいと考えている。
- ・自薦他薦は問わないが、どなたかいかがか。

○伊原委員(八十二銀行茅野支店長)

・地域のために色々ご活躍されており、広い知見からご意見をいただける方として、矢島義擴委員(ちの観光まちづくり推進機構理事)を推薦したい。

－全会一致により矢島委員を選出－

5 その他(田中企画課長)

次回会議に向けたスケジュール(予定)

10/12(火)	第2回茅野市地域創生総合戦略有識者会議
10/26(火)	委員の皆さまからのご意見締切
11/25(木)18:30～	第3回茅野市地域創生総合戦略有識者会議
1月以降	第4回茅野市地域創生総合戦略有識者会議

6 閉会(田中企画課長)